

● 特別委員会活動報告 ●

◆ 奥州市地域医療調査 特別委員会

特別委員会

当特別委員会は、議会閉会中の10月16日、11月6日、22日、12月13日に開催して、調査・研究を行いました。12月13日にはまごころ病院院長にお出でいただき、先生の考える地域の医療についてお話を頂戴いたしました。その中で「地域医療」と言う言葉は立場の違いでその意味や捉え方に大きな差がある。違うものではないが、また同じものでもない。そこで今こそ基本に立ち返って考える必要があるのではないだろうか。先生は「みんなで仲良く力を合わせて」が幼稚な言葉だが、これこそが「地域医療」ではないだろうか。地域の医療を市民各々みんな考え、連帯感を持てば次のステップに大いに役立ち更に強い連帯感ができる。そして医師を惹きつける地域力をつけ、磨きあげることが大切だろう。市民や企業団体が各々できることを考え、行動を起こせば、医師確保やいわゆる「地域医療」が育つのではないだろうか。地域の一人一人が地域の底力として力を発揮すれば、可能性が大いにあるのではないだろうか、

という言葉に多くの委員が「目からうろこ」でした。われわれ議員一人一人がそれぞれ何ができるのか、今後大いに議論を重ねて行きたいと思っています。同時に市民の皆さんのそれぞれが出来る事を考え行動していただきたいし、また考えやアイデアを頂きたいと思っています。副県都にふさわしい安心して出産ができ、安心して暮らせる充実した医療地域にするために大いに調査・研究を重ねて行きたいと考えています。

◆ 競馬事業調査特別委員会

当特別委員会は、議会閉会中の10月16日及び11月6日、12月定例会中の12月14日に委員会を開催し、10月31日には競馬関係者との懇談会を、11月12日には岩手銀行に対して要請行動を実施しました。

委員会では、市長や県競馬組合の常勤副管理者等の出席を求め、19年度の岩手競馬の現状、20年度の開催見通しなどについて、また、競馬関係者との懇談会では、関係者からみた現在の岩手競馬の状況などを聞きました。

県競馬組合の指定金融機関でもある岩手銀行に対しては、出来る限りの協力・支援を行うよう「岩手競馬への支援に係る要望」を提出しました。



県競馬組合の指定金融機関である
岩手銀行への要請行動

今後、管理者である達増知事や中央関係機関への要請行動を行う予定です。

また、この間計画した地元出身県会議員との懇談会は、県議会議員側の都合で断られました。今後、県議会や盛岡市議会との連携を強めて行きたいと考えています。

◆ 北上川治水対策特別委員会

当特別委員会は、議会閉会中の11月16日及び22日並びに今期定例会中の12月3日に委員会を開催しました。

11月16日及び22日の委員会において、市長及び議長の連名で要請行動を行うことを確認、要望書案を全員協議会の決定を経て、要請行動の実施となりました。要請行動の詳細は前頁のとおりです。

北上川の治水対策については、引き続き各地区の現状調査や市、関係団体間の調整などを行い関係者間の共通認識を高めることが必要であります。また、市全体として治水対策の総合的なとりまとめをすすめるため、さらに調査検討が必要であります。

今年度の岩手競馬は、ほぼ終盤にさしかかりましたが、直近の開催実績をみても前年度比86・3%と売り上げは思うように伸びていない状況です。県競馬組合では、さらなるコスト削減により今年度の収支を黒字化するように計画を見直し、来年も競馬事業を存続できよう努力しています。しかしながら、賞典費削減に係る馬資源の流失問題や競馬事業のさらなる民間委託問題など、岩手競馬を取り巻く状況について、まだまだ事業継続には不安な部分が多いものと考えます。

このような中で、委員会として、